



SAP Ariba 

機能の概要

SAP バックエンドシステムのプラントエンティティをサポート

Johan Holm、SAP Ariba

一般提供予定: 2020 年 11 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

導入の難易度
対象エリア

● ハイタッチ
● グローバル

説明: SAP バックエンドシステムのプラントエンティティをサポート

今までの課題

S/4HANA と SAP ECC では、プラントは納入先住所とは異なるエンティティです。一方、SAP Ariba では、プラントは「納入先」であり、通常の住所オブジェクトです。購買組織とプラントの関係が存在するために、このことは、いくつかの問題の原因となります。さらに、実際の納入先が、購買組織が属するプラントとは異なる場合もあります。

SAP Ariba で問題解決

この機能により、プラントがエンティティとして SAP Ariba に導入されます。このプラントはユーザープロファイルに追加され、購入申請ヘッダー（新規）に初期値が設定されます。明細が追加されると、プラントの初期値も明細に設定されます。さらにこの機能では、購入申請明細にある現在の「プラント」フィールドの名前を、適切な「納入先」ラベルに変更します。つまり、ユーザープロファイルと購入申請明細のどちらも、プラントの住所と納入先の住所を含むこととなります。

主なメリット

この機能により、SAP Ariba でお客様は適切にプラントを表すことができます。

対象ソリューション

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing
- SAP Ariba Invoice Management

関連情報

この機能を有効化するには、SAP Ariba 顧客エンゲージメントエグゼクティブまたはアカウントマネージャに問い合わせるよう、貴社の指定サポート担当者 (DSC) に依頼してください。

前提条件と制限事項

- この機能は、S/4HANA および SAP ECC 連携サイトに対してのみ使用できます。
- [統合管理] グループのメンバは、この機能のデータ定義変更を確認して承認する必要があります。
- この機能は、SAP バックエンドシステムと連携する SAP Ariba の購買ソリューションの新しいお客様のみが使用できます。既存のお客様は、この機能を使用できません。

機能の概要

詳細: SAP バックエンドシステムのプラントエンティティをサポート

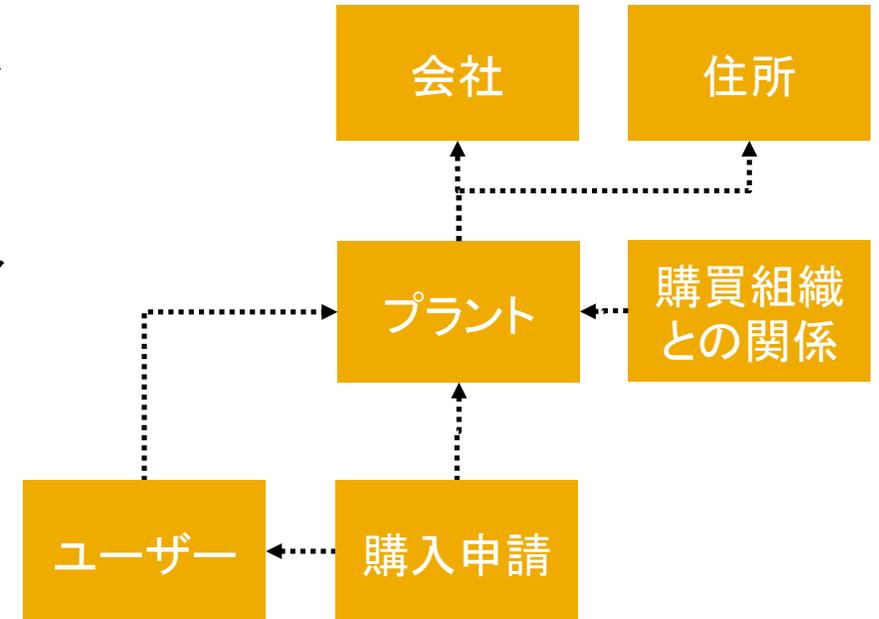
プラントによって、製造プラントのような、組織エンティティまたはビジネスエンティティを表すことができます。また、プラントを使用すると、S/4HANA および SAP ECC との同等性を確保できます。S/4HANA および SAP ECC では、プラントに相当するフィールドは組織エンティティを参照しています。

ヘッダーレベルの [プラント] フィールドを使用すると、購入申請の作成時に、会社コードと購買組織だけでなく、受け取り住所の初期値も設定することができます。納入先住所を表す既存の「プラント」フィールドとともに、この新しいフィールドを使用できるようにするには、標準のカスタマイズを使用して、このフィールドの名前を [受け取り住所] に変更する必要があります。

この機能を有効にすると、以下の属性が導入されます。

- 新しいプラントオブジェクトが、会社および住所の詳細を保持します
- プラントと購買組織の関係によって、依頼元の購買組織に対して有効なプラントを定義します
- プラントが新しい属性としてユーザープロフィールに追加されます
- プラントが購入申請と、オーダーのヘッダーと明細に追加されます
- 既存 (明細) の納入先フィールドは、カスタマイズによって「受け取り住所」に名前が変更されます。

プラントは注文書および関連するエクスポート、検証およびエンリッチ、予算チェック、税の API にも追加されます。



機能の概要

詳細: SAP バックエンドシステムのプラントエンティティをサポート

ユーザーが購入申請を作成すると、以下の初期値が設定されます。

1. プラント（新規）の初期値がユーザープロフィールから設定されます。ユーザーによる編集は可能です
 - ユーザーが購入申請ヘッダーのプラントを変更すると、明細レベルでプラントが更新されます
2. 会社の初期値がプラントから設定されます。ユーザーによる編集は可能です
3. 受け取り住所（カスタマイズによって異なる）の初期値がプラントの住所から設定されます
 - このフィールドは、明細レベルのプラントから設定されます。ユーザーによる編集は可能です

The screenshot displays the SAP PR28 purchase request form, divided into three main sections: Summary, Line Item Details, and Shipping - by Line Item. Red boxes and yellow callout numbers highlight specific fields.

- Summary:** The 'Plant' field is set to '300025 (New York 25)' (callout 1) and the 'Company Code' is '3000 (IDES US INC)' (callout 2).
- Line Item Details:** The 'Plant' field is set to '300025 (New York 25)' (callout 1). A red error message states 'The Vendor does not match the requirements' for the 'Material Group' field.
- Shipping - by Line Item:** The 'Delivery Address' field is set to '300025 (New York 25)' (callout 3).

プラント詳細も、注文書に初期値として設定されます。